

2024年5月20日 第491号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19日行動」に1000人

裏金疑惑徹底追及！ 自民党政治を終わりにさせよう！

総がかり行動実行委員会は5月19日、「裏金疑惑徹底追及！改憲発議反対！終わらせよう自民党政治 5・19国会議員会館前行動」を行い1000人が参加しました。悪法を次々と強行する岸田政権を市民と立憲野党の共闘で退陣させることを決意しあう行動となりました。社民党の福島瑞穂参議院議員、日本共産党の吉良よし子参議院議員があいさつ。立憲民主党、沖縄の風のメッセージが紹介されました。

憲法9条を壊すな！実行委員会の高田健さんが主催者あいさつ。「5月3日の憲法集会は各地で成功を収め、戦争反対、憲法擁護の声を強く示せた。集会の成功は市民の改憲への危惧であり怒りの現れだ。武器の共同開発、武器輸出、自衛隊とアメリカ軍の司令部統合、地方自治法改悪などを押し進め、戦争できる国から、戦争する国に階段を踏みあがっている」と強調。「衆議院3選挙区補選では、立憲民主党の候補が当選した。市民と野党の共闘の力での勝利ではあるが、総選挙にむけて、立憲野党との緊張関係を保ちつつ、共闘を強く大きくし、全国的に運動を作っていけるかが問われている。政治の転換をめざし、奮闘しよう」と呼びかけました。



沖縄戦を考える練馬の集い実行委員から池田五律さんが発言。「遺骨が混じった土砂を辺野古の埋立て使うことは許せない。6月2日に遺骨収集ボランティア・ガマフヤーの具志堅高松さんを招き学習会を行うので参加してほしい。基地反対のたたかいにも取り組んでいる。練馬や朝霞駐屯地が近くにある。内閣府のホームページに注視区域及び特別注視区域の指定について載っているので、みなさんもチェックしてほしい。地域から反撃の運動をがんばっていこう」と呼びかけました。

太田啓子弁護士は共同親権を導入する民法改正案が通ってしまったことについて「単独親権だと子どもが親に会えなくて可哀そうなど、メディアが間違った報道をしている。DV虐待の被害者が逃げ辛くなる、共同親権にしくなくても裁判所が命じられるなどの問題はありますが、施行まで2年ある。正しく知って周りの人たちに伝えてほしい」と訴えました。

Change 都政 市民プロジェクトの西山千恵子さんは、7月7日の東京都知事選について「各地で運動してほしいと、のぼりを作ったので活用してほしい。都知事を交代させるためたたかっている」と訴えました。

行動提起を憲法共同センターの石川敏明全労連副議長が行いました。